

## 茅ヶ崎西浜高等学校 令和5年度 入学式式辞

日 時 令和5年4月7日（金）10:00

### 【入学の許可】

ただいま呼名のありました皆さま358名の、入学を許可します。

一雨ごとに春めいてまいりましたこの佳き日、保護者の皆さま方のご臨席の下に、令和5年度茅ヶ崎西浜高等学校第44回入学式を挙行できますことは、私のみならず、本校職員のひとしく喜びとするところでございます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校は皆さんの入学を、心から歓迎いたします。

さて、新入生の皆さんは、今、新たに始まる高校生活に、大きな期待と、少しの不安を抱えているのではないのでしょうか。そんな皆さんに私から2つのことをお願いします。

まず一つは、よき学習者であることです。学習というのは勉強のことだけではありません。

ここ、茅ヶ崎西浜高校には、全校生徒1,000人以上、教職員80名以上が生活しています。縁あって出会った人たちがここに集い、お互いに深く関わり合い、学び合っています。

教える側の先生たち、学ぶ側の生徒たち、見かけは役割が分けられているようですが、実は、先生たちも教えることによって多くのことを学びます。熱心な学習者である生徒との触れ合いから、たくさんのことを学びます。生徒同士も互いに学び合い、啓発し合っています。これが、学校という集団の教育の場がなす、大切な意味合いです。中学時代にコロナ禍で長い臨時休業を余儀なくされた皆さんなら、その意味が分かるはずです。

学習とは物事を理解することだけではありません。理解するだけなら一人で完結できます。一人ひとりが学ぶという行為を通して他者と関わりあい、互いに学び合うことができるのが、学校の醍醐味です。

かけがえのない、大切な3年間の高校生活を、本校で過ごすことを通して、よき学習者であることを願います。

もう一つは、自分を大切にし、他者も認めることです。

人は誰でも他人に受け入れられたいという願いがあります。しかし、残念なことに、現実の世界では、他者を受け入れることを拒絶する事例が跡をたちません。今こうしている間にも、大勢の人たちが、苦しみや悲しみを体験しています。

本校の「育てたい生徒像」に「命を大切にし、他者との関わりの中で、思いやりを発揮できる生徒」というのがあります。皆さんの一人ひとりが、この世にたった一人しかいない貴重な存在です。まずはかけがえのない自分を認め、自分を大切にしてください。自分を本当に大切にできれば、周りの人たち一人ひとりも同じだということがわかります。自分以外の人たちも大切に、他者を認めることもできるはずですよ。

人とうまく付き合うということは大変難しいものです。どうすればいいでしょうか。そのためには、まず、自分がしてほしいと思うことを、自分から先に試してみることでいいですよ。

例えば、あいさつです。「おはよう」と声をかけてもらえば気持ちがいいですし、「ありがとう」と言ってもらえればうれしいものです。悪いことをしたなと思ったら、できるだけ早く「ごめんなさい」と言えるといいですね。

コミュニケーションって、そういうことから始まるのではないのでしょうか。今日から、ぜひ実践してみましょ。

最後になりましたが、保護者の皆さま、本日はお子様のご入学おめでとうございます。ここまで育ててこられたご苦労に、心より敬意を表します。

これから、本校の教育活動に、温かいご理解とご支援で、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本日入学した新入生の皆さんが、よき学習者となり、本校が互いの人権を認め合う教育の場となるよう、力を尽くしてまいります。

以上をもちまして、入学の式辞といたします。

令和5年4月7日  
神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校 校長 大江雅美